

第6回 医薬品等 ウイルス安全性 シンポジウム

日時 2006年
12月
1日
(金)

会場:北里大学薬学部
コンベンションホール

主催:日本医薬品等ウイルス安全性研究会 協賛:日本PDA製薬学会、北里大学

9:30 受付開始
10:00 会長挨拶 山内一也 (東京大学名誉教授)
10:10 総会 小長谷昌功(代表幹事)(司会:中山幹男、BMSA)

セッション1 ウイルスの不活化と除去

【座長】 岡田義昭(国立感染症研究所)、内田恵理子(国立医薬品食品衛生研究所)
10:30 ウイルスの γ 線による不活化 梶岡実雄、嶋崎典子(財・北里環境科学センター)
米山徹夫、岡田義昭(感染研)、廣庭隆行(社・日本アイソトープ協会)、仁木 保(アルブラスト株)
11:05 国内でのウイルススパイクテストの実施状況 川俣 治(エスアールエル)
11:40 バイオ医薬品の製造に用いる動物由来原料の安全性確保について
—FCSと無血清培地など最新の細胞培養技術から— 渡辺敏夫(インビトロジェン)

昼食 (12:15~13:30)

セッション2 ワクチンの安全性確保

【座長】 駒瀬勝啓(国立感染症研究所)、井土俊郎(財・日本生物科学研究所)
13:30 ワクチンに求められること 中山哲夫(北里大学)
14:05 動物用ワクチンのウイルス安全性確保 中村成幸(動物衛生研究所)

休憩 (14:40~15:00)

セッション3 トピックス

【座長】 小長谷昌功 (北里大学)
15:00 鳥インフルエンザ:感染のしくみと対策 堀本泰介(東京大学医科学研究所)

セッション4 法規制

【座長】 布施 晃(国立感染症研究所)、浜口 功(国立感染症研究所)
15:35 再生医療とウイルス安全性 新指針について 清水則夫(東京医科歯科大)
16:10 バイオ医薬品/生物薬品のウイルス安全性に関する国際動向
内田恵理子、山口照英(国立医薬品食品衛生研究所)
16:45 閉会の挨拶 檀原宏文(北里大学薬学部微生物)

ご案内

- 会場案内 北里大学薬学部コンベンションホール、東京都港区白金5-9-1
バス路線:渋谷-恵比寿-田町, 北里研究所前(田87系統)
地下鉄:日比谷線広尾駅、南北線/都営三田線白金高輪駅下車徒歩10~15分
- 参加費(当日受付) 会員6000円、非会員9000円(入会の場合は年会費含む)、官学1000円
- 問い合わせ (世話人) 川俣 治(エスアールエル) kawamata@srl.srl-inc.co.jp
駒瀬勝啓(国立感染症研究所) kkomase@nih.go.jp
- 入会申し込み (事務局)メディ・イッシュ内 担当:原田 浩 Tel:03-5805-1901、Fax:03-5805-1092
個人会員(3,000円)、賛助会員(団体・企業、70,000円)

詳細はウェブサイトを参照ください。 <http://www.nih.go.jp/biologicals/viral-safety/>